

I 研究速報 水稻新品種「一番星」の極早期収穫技術

平成25年度から本県生物工学研究所育成の水稻新品種「一番星」(品種登録出願中)を認定品種に採用しました。「一番星」の特徴は、県内で一番早く収穫される「あきたこまち」よりも2日程度早く成熟期を迎えます。図は、5月1日に同じ条件で移植した「一番星」と「あきたこまち」です。出穂期は「一番星」が7月15日、「あきたこまち」が7月16日とほぼ同じでしたが、「一番星」の成熟が早いことから、「あきたこまち」よりも早くこうべを垂れてきています。また、「一番星」は、①品質低下の要因の1つである高温障害に強く品質が優れ、玄米も大粒で、②県内で発生が増加している縞葉枯病に抵抗性を有しています。食味は「あきたこまち」と同等との評価で、生産者からは倒伏に強く、栽培しやすいという意見が寄せられています。

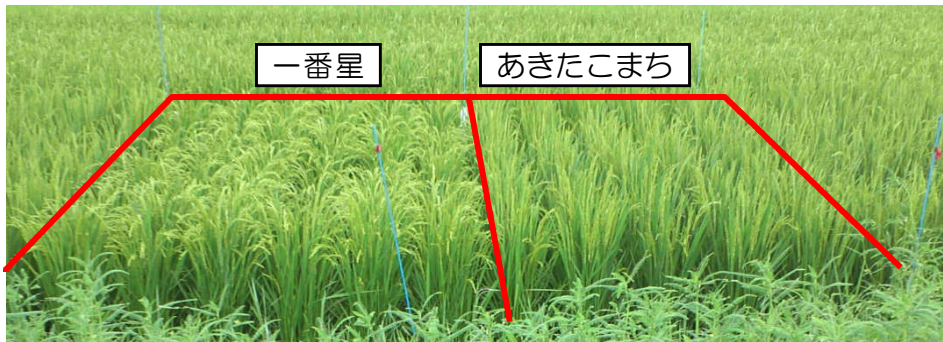


図 「一番星」と「あきたこまち」出穂約10日後の様子
(稲敷市清久島の現地ほ場, 平成25年7月26日撮影)

◆極早期収穫のための栽培法

農業研究所では、現在、「一番星」をさらに早く収穫できる栽培法の開発について取り組んでいます。本年は、育苗期間38日の中苗(播種量80g/箱)と、育苗期間23日の一般的な稚苗(播種量160g/箱)の苗を4月18日に移植し、出穂期や成熟期の違いを検討しました。その結果、中苗は稚苗と比較して出穂期が3日早まり、成熟期については5日早まりました(表)。

◆「一番星」は早期収穫以外にも、大粒で品質が良いといった優れた特徴もあり、農業研究所ではこれらの特徴を活かした栽培方法等についても、さらに検討していく予定です。

(水田利用研究室)

表 「一番星」の苗質と生育

| 苗質 | 播種量/箱 (g) | 出穂期 | 成熟期 | 玄米重 (kg/a) | 倒伏 程度 |
|----|--------------|------|------|---------------|----------|
| 中苗 | 80g | 7/10 | 8/13 | 57.0 | 0.3 |
| 稚苗 | 160g | 7/13 | 8/18 | 62.5 | 1.0 |

試験場所：水田利用研究室(龍ヶ崎市)
施肥窒素量(kg/a)：基肥0.6+追肥0.1
移植期：4月18日, 栽植密度：18.5株/m²
倒伏程度は、0(無)~5(甚)の6段階評価

Ⅱ トピックス

1. 大豆の有望品種をテーマに、第5回主要課題現地検討会を開催

10月17日に生産者、集荷団体、関係機関等の職員ら75名の参加者のもと、筑西市において大豆有望品種「里のほほえみ」、「フクユタカ」を中心に、第5回主要課題現地検討会を開催しました。

◆検討内容

大粒品種「タチナガハ」は青立ち症状が発生しやすく、収量低下や成熟期の遅れによる品質低下の一因となっており、生産現場からは青立ちが発生しにくく加工適性に優れる品種への転換を求められています。現在、農業研究所では、「タチナガハ」に替わる品種として「里のほほえみ」と「フクユタカ」を有望とし、その栽培試験に取り組んでいます。今回の検討会では、これまで得られた研究成果を紹介しました。



まず、栽培試験を行っている筑西市西方の現地圃場において、生育状況について立毛検討を行いました。その後、筑西合同庁舎に移動し、農業総合センターの松浦専門技術指導員を座長に「里のほほえみ」と「フクユタカ」の栽培特性に関する研究成果等について説明しました。また、大豆の湿害対策と難防除雑草対策について松浦専門技術指導員から、筑西市で取り組まれている大豆摘心栽培について県西農林事務所 経営・普及部門の岡野主任から説明がありました。

会場からは「『タチナガハ』は作りやすいが裂莢と青立ちが多いので、早く新しい奨励品種がほしい。」、「『里のほほえみ』は、莢着きが早い。三粒莢が少ないような気がするが、粒が大きいから収量は同じだと思う。」、など多くの意見・要望が出され、活発な検討会となりました。

2. 水稻の食味官能試験

水稻の収穫も終わり、農業研究所では水稻の食味官能試験が始まりました。これは、農業研究所職員や生物工学研究所普通作育種研究室職員がパネラーとなり、新しい水稻品種や系統について、味の評価を行うものです。基準となる品種（「コシヒカリ」など）と比較し、外観の良否（白さ、光沢など）、香りの良否、味の良否、粘りの強弱、硬さ（硬・柔）を判定し、最後に総合的な食味を判定します。



茨城発の新しい品種「ふくまる」や「一番星」（いずれも品種登録出願中）も、このような試験を重ねて生まれてきました。

編集・発行／茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 水戸市上国井町3402
TEL029-239-7211(代) FAX 029-239-7306
水田利用研究室
〒301-0816 龍ヶ崎市大徳町3974
TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667
Mail nouken@agri.pref.ibaraki.jp
URL <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/nourin/noken/>